

LRQA独立保証声明書

横河電機株式会社の 2024 年度環境・社会データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて横河電機株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、横河電機株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、YOKOGAWA サステナビリティレポート 2025 等に掲載される 2024 年度（2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日）の会社の環境・社会データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 (改訂版) 及び温室効果ガス（GHG）については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内外連結会社における運営及び活動 に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の選択された環境・社会データの正確性及び信頼性の評価

【環境データ】

- エネルギー使用量（GJ）¹
- 再生可能エネルギー使用量（MWh）
- GHG 排出量（Scope 1、Scope 2（マーケット基準）、Scope 3（Category 1-15））（tCO₂e）²
- 取水量（m³）
- 排水量（m³）
- 廃棄物総発生量（トン）
- 廃棄物最終処分量（トン）
- VOC 排出量（トン）³

【社会データ】

- 労働災害発生率⁴
- 休業災害発生率⁵
- 死亡災害発生件数
- 全従業員の女性比率（%）
- マネージャーに占める女性比率（%）
- 男女賃金差異（%）
- 生産拠点の ISO 14001、45001 取得率（%）
- Tier-1 サプライヤーの総数
- Tier-1 における重要なサプライヤーの総数
- Tier-1 における重要なサプライヤーの総支出額の割合（%）
- 非 Tier-1 の重要なサプライヤーの総数
- 重要なサプライヤーの総数（Tier-1 と非 Tier-1）
- 机上評価／実地評価によるサプライヤーの総数

¹ 省エネ法における一次エネルギー換算量を示す。

² GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。Scope 3 Category 1 において、LRQA は算定に使用されているサプライヤーからの一次データを検証していない。

³（YOKOGAWA グループ生産事業所）トルエン及びキシレン；（国内生産事業所）電機・電子 4 団体で定める 20 物質。

⁴ 算定範囲内における休業およびの件数を延労働時間数で除したものである。（百万時間あたり）

⁵ 算定範囲内における休業災害の件数を延労働時間数で除したものである。（百万時間あたり）

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境・社会データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準⁶、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

保証手続

LRQA の保証業務は、ISO 14064-3:2019 (GHG)、ISAE3000 (改訂版) (GHG 以外) に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプル手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2024 年度の環境データ・社会データに関する記録および情報の検証を行った。
- 横河電機株式会社 本社 (武蔵野) を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行うと同時に、敷地範囲において各種設備の現場確認を実施した。

観察事項

- 会社は、今後のデータの報告において、完全性、正確性、信頼性を更に向上することが期待される。引き続き確実に内部のデータを管理するシステムを確立することが望まれる。

基準、適格性及び独立性

LRQA は ISO14065 “温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準¹と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQA は、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。

全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

⁶ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。



LRQAは会社のISO 9001及びISO 45001の認証機関である。また、LRQAは会社に対して、マネジメントシステムに関する様々なトレーニングサービスを提供している。検証・認証評価及びトレーニングは、LRQAが会社に対して行っている唯一の業務であり、そのためLRQAの独立性や公平性を損なうものではない。

署名

2025 年 6 月 30 日

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Yuzumi Nakamura', is written over a light blue horizontal line.

由岐中一順

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LRQA reference: YKA4005469

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2025.